



Ceramic Tower Fan Heater
/Ceramic Fan Heater

デロンギ
セラミック タワー ファンヒーター
/セラミック ファンヒーター

型式番号

TCH8093ERJS
/DCH7093ERJS

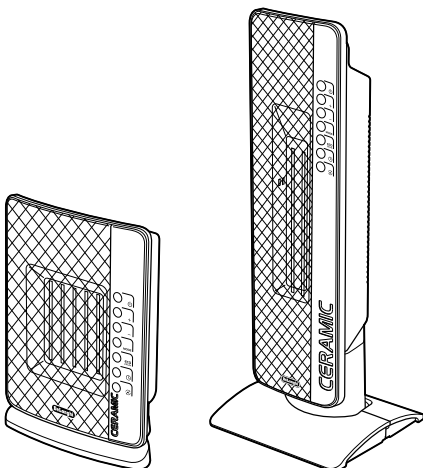
家庭用

取扱説明書

保証書付

この度は、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は大切に保管してください。

●本書に記載の内容は改善のため予告なく変更する場合があります。
※本文中のイラストは DCH7093ERJS で代表しています。



DCH7093ERJS

TCH8093ERJS

目次

安全上のご注意.....	2
ご使用前に	4
基本の使いかた.....	5
その他の使いかた.....	6
故障かな?	8
お手入れ	9
リモコンの電池交換.....	9
電源プラグ・コードの安全チェックシート....	10
仕様.....	10
アフターサービス.....	11
保証書	裏表紙

付属品 ご使用の前にそろっているかご確認ください。

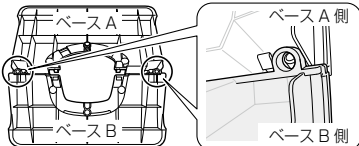
- ☐ リモコン (電池含む)
- ☐ ベース : 2枚 (TCH8093ERJSのみ)
- ☐ ネジ : 1本 (TCH8093ERJSのみ)
- ※ネジは梱包材 (リモコンと同じところ) から忘れずに取り出してください。

ベースの組み立てかた (TCH8093ERJSのみ)

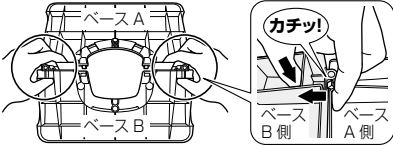
⚠ 注意

転倒や破損の原因になりますので、本書の手順に従って、ベースを正しく組み立ててください。

- ① 安定した台の上に、ベース (2枚) を下図のように置く

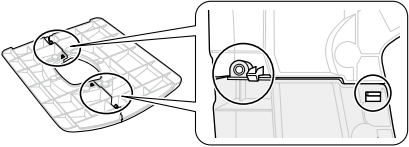


- ② 両手を使って下図のようにはめ込む

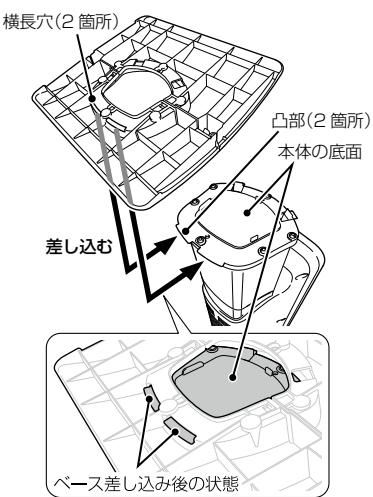


●親指でベース B を台に押し付けながら、カチッとなるまで、人差し指と中指でベース A を引き寄せます。

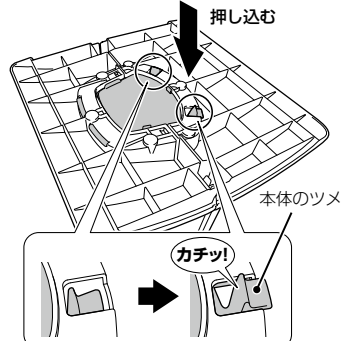
- ③ ベースの取り付け状態を確認する



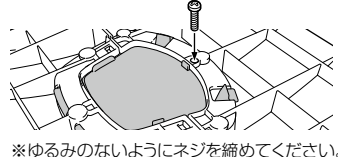
- ④ ヒーター本体の底面を上にして、底面の凸部 (本体背面側) を、ベースの横長穴に差し込む



- ⑤ 本体のツメ (2カ所) がカチッと固定されるまで、ベースをしっかり押し込む



- ⑥ プラスドライバーを使用して、付属のネジで固定する



※ゆるみのないようにネジを締めてください。

安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。



警告

誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に
結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたとき、軽傷または家
屋・家財などの損害に結びつく可能性の
あるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」
内容です。



この絵表示は、必ずしていただく
「指示」内容です。

警告

**定格 15 A (100 V) のコンセントを
本製品だけ単独で使用する**

(火災の原因)

- ※ ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- ※ 延長コード、テーブルタップ、ソケットなど
は使用しないでください。

**電源プラグは根元までしっかりと差し
込む**

(火災の原因)

**定期的に電源プラグやコンセントのホ
コリなどを取る**

(火災の原因)



指示

異常・故障時には使用を中止する

(火災・感電の原因)

故障・異常時には直ちに使用を中止し、電源
プラグをコンセントから抜き、販売店または
当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼
してください。

**お子様、自分で本機の温度を調節でき
ない方には必ず付き添う**

(火災・感電・けが・やけどの原因)

- ※ お子様、乳幼児、自分で本機の温度を調節で
きない方が近くにいるときは、必ず大人が付
き添ってください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電の原因)

電源プラグ・電源コードを破損させない

(火災・感電の原因)

- コードに重たいものを載せたり、本機の下敷
きにしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使
用しない。
- 送風口や他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに異常があるときは直ち
に使用を中止し、販売店または当社テクニカ
ルセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

**カーテン、布団など燃えやすいものの
近くで使わない**

(火災の原因)

- コンセントのすぐ下で使わない。
- カーテンなど燃えやすいものの近く、テー
ブルや机の下で使わない。

**穴、すき間、開口部に指やピン・針金
などを差し込まない**

(火災・感電の原因)

**スプレー缶やカセットボンベを本体の
近くに置かない**

(火災・けがの原因)



分解禁止

本製品を分解、改造しない

(火災・感電の原因)









覆い掛け禁止

本機を布団や衣類などで覆わない
(火災の原因)




- 乾燥など他の用途に使用しない。

⚠ 注意

 <p>平らな安定した場所に置く (火災・けがの原因)</p>	 <p>水などの液体を本体にかけない (火災・感電の原因)</p>
 <p>就寝時、外出時、お手入れの際には、電源プラグを抜く (火災の原因)</p>	 <p>水・湿気の多い場所で使わない ● 屋外や浴室など水や湿気の多い場所で使わない。 水場使用禁止 (火災・感電の原因)</p>
 <p>長時間同じ部位を暖めない (やけどの原因) ※ 長時間同じ部位を暖めると低温やけどのおそれがあります。 犬や猫などのペットの暖房に使わない (火災の原因)</p>	 <p>運転中および運転停止直後は、送風口など高温部に触れない (やけどの原因) ※ 移動の際には電源プラグを抜き、本体が十分に冷めてから取っ手を持って移動してください。</p>

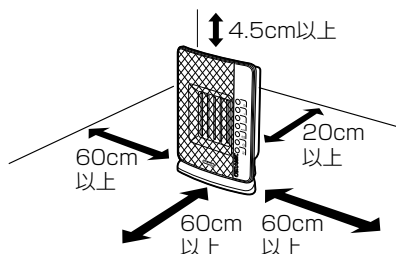
電池について

使い方を誤ると変形、発熱、破裂、液漏の原因となります。次の注意事項を必ずお守りください。

<p>指定された電池のみ使用する (火災・けがの原因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交換の際には、プラス (+) とマイナス (-) の向きを指示どおりに入れる。 ● 使い切った電池は機器から取り出す。 	 <p>高温・高湿の場所を避けて保管する (火災・けがの原因)</p>
 <p>電池は幼児の手に届かないところに置く (火災・けがの原因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。 ※ 電池の液が身体や衣服に付いた場合は、水でよく洗い流してください。 	 <p>加熱したり分解したり、火の中に入れない (けがの原因) 直射日光の強い所やヒーターの前など高温の場所に放置しない (けがの原因)</p>

設置場所

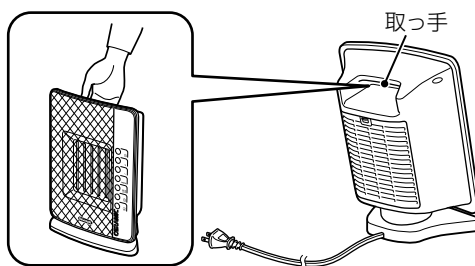
- 壁やカーテンなどの燃えやすいものから以下の距離を取り、設置してください。



- 毛足の長いじゅうたんや凹凸のある床の上を避けて、平らな場所に設置してください。本機が倒れたり大きく傾いたりすると安全装置が働き電源が切れます。
- ペットのそばで使わないでください(火災・やけどの原因)。

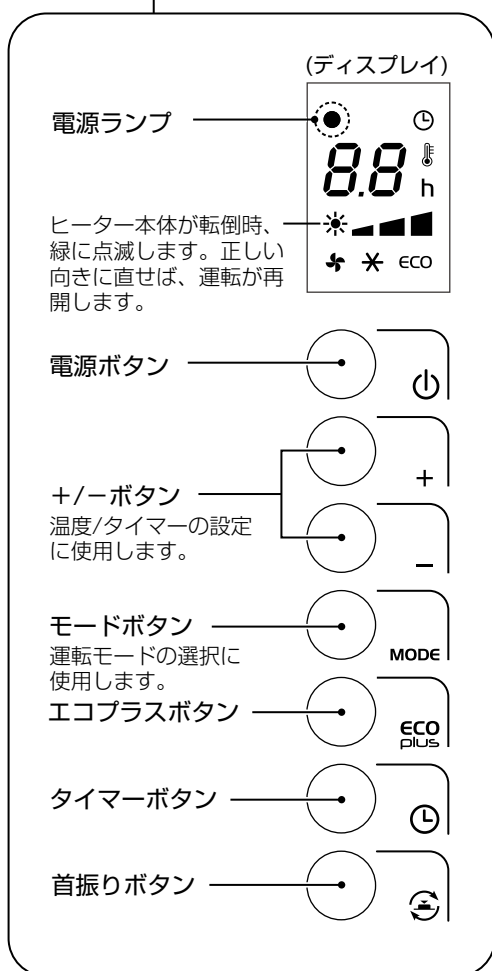
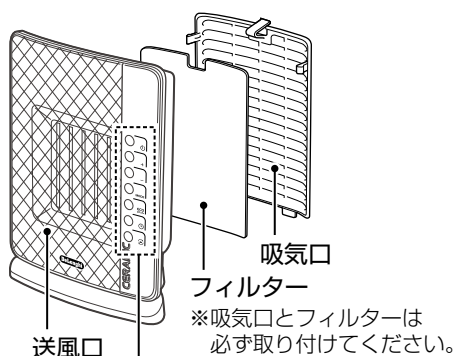
本機の持ちかた

- 本機を移動するときは、取っ手を持って移動してください。



ご使用の前に

各部の名前



- ディスプレイの明るさは、本機を操作するといったん明るくなりますが、約10秒間何も操作しないと再び暗くなります。

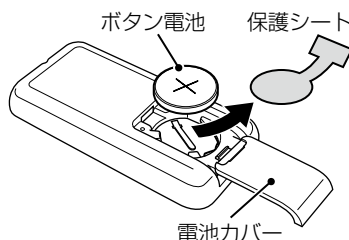
⚠ 使用上のご注意

- 本書(2～3ページ)の「安全上のご注意」と「設置場所」に従って、本機を正しく設置してください。
- 背面のフィルター部は絶対にふさがないようにください。
- フィルターと吸気口は定期的にお手入れをしてください。お手入れ方法は、9ページをご参照ください。

付属のリモコンを使うときは

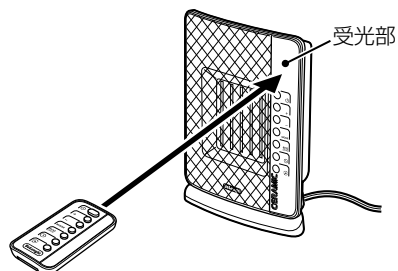
本体のボタンと同じ手順で操作できます。

- はじめて使うときは、電池の保護シートを取り外してください。



電池カバーを開けて、保護シートを取り外します。電池カバーの開けかた／閉めかたは、9ページの「リモコンの電池交換」を参照してください。

- リモコンで操作するときは、受光部にリモコンを向けてください。



お知らせ

受光部に直射日光やその他の強い光を当てないでください。リモコンが正しく動かなくなることがあります。

基本の使いかた

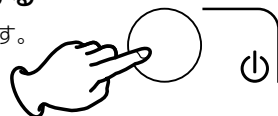
1 運転開始

電源プラグをコンセントに差し込む

- 「ピーピーピー」という音がして、電源ランプが点灯します。

▶ 電源ボタンをタッチする

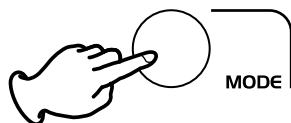
- 本機の運転が始まります。



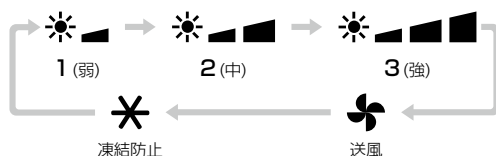
2 運転中

■ 暖房の強弱の切り替え：

モードボタンをタッチする

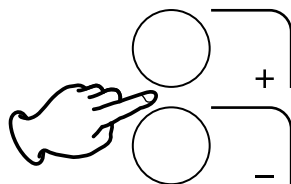


- 繰り返しタッチして、弱・中・強から好みの暖めかたを選んでください。



■ 温度の設定：

+ / - ボタンをタッチする



- 設定できる温度は、16℃から32℃です。
- 設定温度は、機器周辺の温度の目安としてご使用ください。
- 機器周辺の温度条件によっては設定温度に達しない場合があります。
- ホットカーベットの近くや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく動きません。

■ その他の使いかた：操作方法は、6ページから7ページをご参照ください。



エコプラス運転

消費電力を抑えて暖房運転したいとき



タイマー運転

タイマーを使って、運転を開始／停止したいとき



凍結防止

冬期の室温の下がりすぎを防ぎたいとき



送風

お部屋の空気を循環したいとき



首振り運転

左右に首振りしたいとき

3 運転停止

電源ボタンをタッチする

- 数秒間送風し内部を冷却した後、本機の運転が停止します。
- 本機を使わないときは、電源プラグを抜いてください。

- 1 (弱) 設定時は、2 (中) ・ 3 (強) より静かな音で運転します。

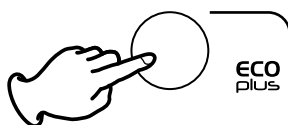
その他の使いかた

ECO
plus

エコプラス運転

設定したモードを最大として、自動で暖房の強弱を切り換えます。温度の上がりすぎを防止して、消費電力を抑えることができます。

- ① 暖房以外(送風や凍結防止)で運転中の場合は、モードボタンをタッチして暖房運転に切り替える
 - * / * / * のどれかが表示されるまで、繰り返しタッチしてください。
- ② +/- ボタンをタッチして、温度を設定する
- ③ エコプラスボタンをタッチする
 - ECO が点灯したら、エコプラス運転が始まります。



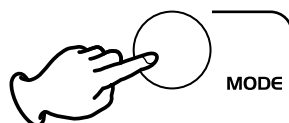
✱

凍結防止

周囲の温度が7℃になるように断続運転して、冬期の室温の下がりすぎを防ぐことができます。

運転中に、✱ が表示されるまで、モードボタンを繰り返しタッチする

- ✱ が点灯したら、凍結防止運転中です。



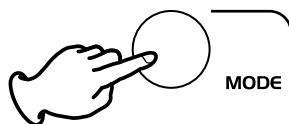
✻

送風

暖房は動作せずに、風だけを送ります。室内の空気を循環させたいときなどに使用します。

運転中に、✻ が表示されるまで、モードボタンを繰り返しタッチする

- ✻ が点灯したら、送風が始まります。



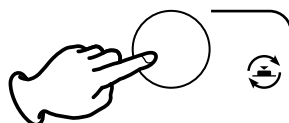
↺↻

首振り運転

左右約45度ずつ首振りします。

運転中に、首振りボタンをタッチする

- もう一度タッチすると、首振りが停止します。
- 手で首振りの角度を変えないでください。故障の原因となります。





タイマー運転

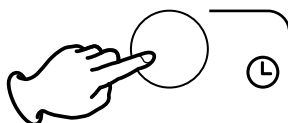
0.5時間から24時間先まで、運転開始／停止を予約できます。

- タイマー時間は、10時間先までは0.5時間ごと、10時間から24時間先までは1時間ごとに設定できます。
- タイマーは、1パターンのみ設定が可能です。
タイマー設定後に、別なタイマーを設定した場合、前の設定は消えてしまいます。

設定時間後に運転を始めたいとき(オンタイマー)

① 運転中の場合は、電源ボタンをタッチして運転を停止する

② タイマーボタンをタッチする



③ ⑨とhが点滅している間に、+／- ボタンをタッチして時間を設定する

- そのまま数秒待ち、⑨が点灯したら設定完了です。
- オンタイマーでは、首振り運転の設定はできません。
- オンタイマー設定後に手動で運転する場合は、運転開始後にタイマーを解除(タイマーボタンを2回タッチして⑨を消灯)してください。オンタイマーを再開するときは、再度設定しなおしてください。
- 本体の+/- ボタンは、長押しすると数字がはやく進みます。

設定時間後に運転を停止したいとき(オフタイマー)

① 運転中に、タイマーボタンをタッチする

② ⑨とhが点滅している間に、+／- ボタンをタッチして時間を設定する

- そのまま数秒待ち、⑨が点灯したら設定完了です。
- オフタイマー設定後に、手動で運転を停止するとタイマーが解除されます。

タイマー時間を変更するとき

① タイマーボタンをタッチする

② ディスプレイに時間が表示されたら、+／- ボタンをタッチして時間を変更する

- そのまま数秒待ち、⑨が点灯したら設定完了です。

タイマーを解除するとき

タイマーボタンを2回タッチする

- ⑨が消灯したら解除完了です。

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電などで通電が止まった場合は、タイマー設定が解除されます。再度設定しなおしてください。

故障かな？

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

① 電源ボタンをタッチしても運転しない／温風が出てこない

チェック1 電源プラグ ▶ コンセントに確実に差し込まれていますか？

チェック2 設置場所 ▶ 正しく設置していますか？

本機が大きく傾いたり横倒しになっていると、転倒時OFFスイッチが働いて運転を開始しません。(→4ページ)

チェック3 設定温度 ▶ 室温よりも低く設定されていませんか？

+ボタンをタッチして、設定温度を上げてください。

② 温風の勢いが弱くなってきた

チェック 吸気口 ▶ フィルターが、ホコリで目詰まりしていませんか？

お手入れの方法に従って、フィルターのホコリを取り除いてください。(→9ページ)

③ 首振りしない／途中で首振りが止まる

チェック1 設定変更などの操作をした直後ではありませんか？

本機を操作した場合、数秒間は首振りが停止します。

チェック2 本機の設定 ▶ 暖房運転または凍結防止運転中ですか？

設定温度に達して、本機の運転が自動停止している間は首振りも停止します。

④ リモコンで操作できない

チェック1 設置場所 ▶ 本体の受光部に、直射日光や強い光が当たっていませんか？

受光部に直射日光やその他の強い光が当たっていると、リモコンが正しく動かなくなることがあります。

チェック2 電池 ▶ リモコンの電池が消耗していませんか？

電池を交換してください。(→9ページ)

⑤ ディスプレイが全点灯し「ピーピーピー」と音がして、電源が切れる

チェック 本体の背面 ▶ 吸気口がふさがれていませんか？

背面の吸気口をふさぐような障害物(カーテンや布、固まったホコリなど)があり、本体の温度が異常に上昇すると、安全装置(温度過昇防止)が働きます。

安全装置が働いた場合：

電源プラグをコンセントから抜き、障害物を取り除いた後、本体の温度が下がるのを待ってください(10分以上)。

温度が十分下がっても状態が改善されない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社テクニカルセンター(→11ページ)までご連絡ください。

⑥ 設定できる温度が高すぎる

チェック 本機の設定 ▶ 温度表示の範囲が60から90になっていませんか？

表示設定が華氏温度に変わっています。工場出荷設定の摂氏温度表示(16℃から32℃)に戻すには、以下の手順で切り替えてください。

摂氏⇄華氏の切り替え方法：

- ① 電源ボタンをタッチして、暖房運転を行います。(送風・凍結防止以外のモードで運転してください。)
- ② 本体の+ボタンをタッチし続け(10秒程度)、「ピー」という音がしたら指を離してください。

⑦ タイマーを設定しても、タイマーが働かない

チェック1 ディスプレイ ▶ タイマー設定後、⑨は点灯していますか？

タイマー時間を設定した後、⑨が点滅から点灯に変わるまでは、ボタン操作をせずお待ちください。(⑨が点滅中にタイマーボタンをタッチすると、タイマーが解除されます。)

チェック2 タイマー設定後に、電源コードをコンセントから抜いていませんか？

タイマー設定後に、電源コードをコンセントから抜くと、タイマー設定が解除されます。(→7ページ)

⑧ 本体のボタンをタッチしても反応しない

チェック 操作パネル ▶ 操作パネルのボタン部分を触れていますか？

操作パネル面の丸くくぼんでいる部分がボタンです。ボタン部分を確実にタッチしてください。

お手入れ



お手入れや収納をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う。

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

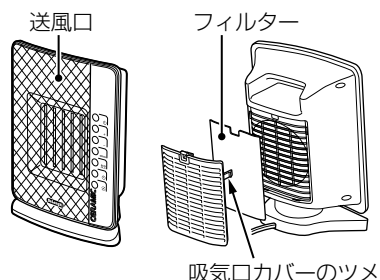


洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない。

フィルターと送風口のお手入れ

送風口や背面のフィルターにホコリがたまると、温風の勢いが弱くなったり、安全装置が働いて運転が停止したりすることがあります。

- 定期的なお手入れ：
1週間に1回程度をめやすに、フィルターと送風口にたまったホコリを掃除機で吸い取ってください。吸気口カバーが外れにくいときは、カバーのツメの部分を内側に押しながらかけてください。



フィルターを外したままで本機を使用しない。

収納するとき

- 本体やフィルターのお手入れをした後、ホコリがたまらないようにカバーなどをかけて、湿気の少ない場所に保管してください。



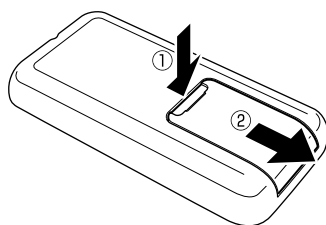
保管の際は、逆さに立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない。

リモコンの電池交換

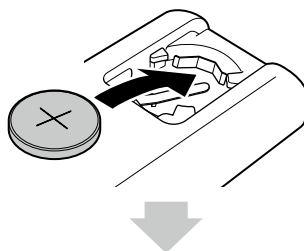
使用する電池は、リチウムボタン電池CR2032です。

1 電池カバーを開ける

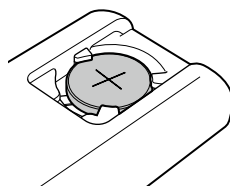
電池カバーのくぼみに指をかけて(①)、電池カバーを押しながら矢印の方向にスライドさせる(②)



2 電池を交換する



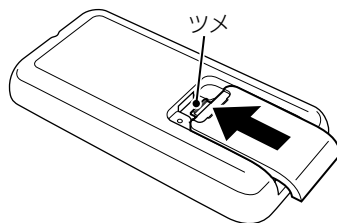
電池は+/-を正しい向きにして入れる



電池が斜めにずれたり、浮いたりしないように、はめ込む

3 電池カバーを閉じる

電池カバーのツメをリモコンに差し込み、カチッとなるまで押し込む



お知らせ

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

電源プラグ・コードの安全チェックシート

製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

- ☐ 壁のコンセントを他の機器と併用していませんか？
- ☐ 延長コード、テーブルタップを使っていますか？
- 壁のコンセントは、定格容量15Aのものを使う。
 - 壁のコンセントを本機だけで使う（二口めを使わない）。
 - 延長コード、テーブルタップは使用しない。
- 守らないと：火災の原因
- ☐ コンセントにガタツキはありませんか？
- 電気店などに依頼し、修理する。
- 守らないと：火災の原因
- ☐ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？
- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除く。
- 守らないと：火災の原因

- ☐ 電源プラグ（刃）が変形していませんか？
- ペンチなどで手直しせず、お求めの販売店または当社テクニカルセンターにプラグの交換を依頼する。
- 守らないと：火災の原因
- ☐ 電源コードに重いものが載っていませんか？
- 電源コードを家具等の下敷きにしたり、壁に押し付けたりしない。
- 守らないと：感電や火災の原因
- ☐ 電源コードを束ねていませんか？
- 余った電源コードは束ねず、伸ばしたまま使う。
- 守らないと：火災の原因

仕様

型式番号			TCH8093ERJS	DCH7093ERJS
定格	電圧／周波数		交流 100V ／ 50/60Hz	
	消費電力 (50/60Hz)	3(強)	1400W/1300W	1350W/1250W
		2(中)	950W	950W
		1(弱)	450W	450W
外形寸法(約)			幅27.5cm×奥行26.5cm×高さ70cm	幅26cm×奥行16cm×高さ34cm
質量(約)			3.4kg	2.2kg
タイマー			24時間オンタイマー、オフタイマー付き(同時設定はできません)	
安全装置			転倒時OFFスイッチ、温度過昇防止用サーモスタット(復帰型)	
付属品			リモコン(電池含む)	
			ベース(2枚)、ネジ*(1本)	—
原産国			中国	

※ネジは梱包材(リモコンと同じところ)から忘れずに取り出してください。

この製品は欧州 RoHS 指令に適合した製品です。

欧州 RoHS 指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



アフターサービス

1 使用中に異常(★)が生じた場合：

直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、8ページの「故障かな?」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター(下記参照)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 本体や操作部に、水や液体などをこぼした
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体に、強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない
- ディスプレイに「PF」が表示される

万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に ①お買い上げ日 ②製品名と型式番号 ③故障の状況—を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※ 宅配便等を利用して当社テクニカルセンター(下記参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封くださるようお願いいたします。

※ お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ(下記参照)にてご確認ください。

※ 保証規定に関しては、保証書をご参照ください。

2 補修用性能部品の保有期間について：

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 まごころ点検について：

長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。

保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお薦めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社テクニカルセンター(下記参照)までお問い合わせください。



4 デロンギ再資源化システムについて：

ご不要になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンター(下記参照)までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



● **送料について：**再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

● **梱包について：**製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社テクニカルセンター(下記参照)までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン テクニカルセンター(受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30～17:00)

コールセンター Tel.0120-804-280

Fax.0120-956-020

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページでのお問い合わせ(URL)..... <http://www.delonghi.co.jp/support>